

平成 28 年度 公立豊岡病院組合改革プラン  
具体的な取り組みの進捗状況

平成 29 年 12 月  
公立豊岡病院組合

## 平成 28 年度 公立豊岡病院組合改革プラン 具体的な取り組みの進捗状況

### I 医師確保対策

①医師修学資金貸与医学生の確保・定着促進	1
②医師のキャリアアップ支援	1
③医師の業務軽減	2
④業績に対する評価・報奨	2
⑤テレビ会議システム等を活用した教育支援	3
⑥地域医療研修の受け入れ	3
⑦その他（プランに記載のない取り組み）	4
<b>II 看護師確保対策</b>	
①奨学金貸与学生の確保	5
②院内保育所整備による離職防止と育休からの職場復帰支援	5
③テレビ会議システム等を活用した教育支援	5
④養成校訪問・広報などを活用した確保対策強化	6
⑤出前講座などを活用した進学対策支援	6
⑥看護師の業務軽減	7
⑦その他（プランに記載のない取り組み）	7
<b>III 医療機能向上対策</b>	
①病診連携・病病連携の強化促進	8
②7対1看護の効率的な運営推進	9
③D P C の効率的運用	9
④クリニカルパスの推進	9
⑤連携パスの推進	9
⑥高度かつ先進的な周産期医療の提供	10
⑦朝来医療センター建設の医療機能向上と効率的運用の推進	10
⑧地域医療構想を踏まえた医療提供体制の整備	11
⑨その他（プランに記載のない取り組み）	11

### IV 経営意識向上対策

①経営意識向上を目的としたセミナー等の開催	13
②経営状況の「見える化」と職員間の更なる情報共有	13
③B S C を活用した経営意識の向上	13
⑤その他（プランに記載のない取り組み）	13
<b>V 収入向上対策</b>	
①7対1入基本料の取得（豊岡病院）	14
②新たな施設基準の取得	14
③D P C 機能評価係数Ⅱの向上	15
④未収金の発生率の抑制及び未収金の回収率の向上	16
⑤遊休不動産の売却	16
⑥目的外使用許可制度の活用による収益確保	17
<b>VI 経費削減対策</b>	
①委託内容の見直しと業務委託の推進	18
②同種同効品への切り替え等による経費削減	19
③委託化等の推進による適正な人員配置	19
④後発薬品の使用率の向上促進	19
⑤その他（プランに記載のない取り組み）	19
<b>VII 広報及び連携対策</b>	
①ホームページの充実	20
②「はすびたる」による積極的な情報提供	20
③FMジャングルによる情報提供	20
④各構成市広報誌による情報提供	20
⑤区長会他関係団体への情報提供（出前講座）	20
⑥朝来市ケーブルテレビにおける情報提供	20
⑦4病院ネットワーク化	20

# I 医師確保対策

項目	H28年度実績・成果	自己評価	委員会評価																																	
<p>① 医師修学資金貸与医学生の確保・定着促進</p> <p>医師を目指す医学生に修学資金を貸与することにより、将来的に公立豊岡病院組合で診療に従事する医師の確保を図る。(H16年度創設)</p>	<p>1 修学資金貸与者等の状況</p> <p style="text-align: right;">(単位：人、件)</p> <table border="1" data-bbox="745 352 1603 555"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規貸与者 ※毎年目標3名程度</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>研修開始医師</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>エクスターンシップ参加人数</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>貸与中の医学生への訪問・面談の実施</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] H28年度末状況</p> <table border="1" data-bbox="745 603 1294 847"> <tbody> <tr> <td>制度利用者総数(H16～28累計)</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">内訳</td> <td>貸与中医学生</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>義務年限勤務中</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>外部研修中</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>義務年限満了</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>中途離脱</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H26	H27	H28	新規貸与者 ※毎年目標3名程度	3	4	1	研修開始医師	5	2	2	エクスターンシップ参加人数	4	9	10	貸与中の医学生への訪問・面談の実施	2	4	4	制度利用者総数(H16～28累計)	40名	内訳	貸与中医学生	15名	義務年限勤務中	10名	外部研修中	5名	義務年限満了	3名	中途離脱	7名	△	△
区分	H26	H27	H28																																	
新規貸与者 ※毎年目標3名程度	3	4	1																																	
研修開始医師	5	2	2																																	
エクスターンシップ参加人数	4	9	10																																	
貸与中の医学生への訪問・面談の実施	2	4	4																																	
制度利用者総数(H16～28累計)	40名																																			
内訳	貸与中医学生	15名																																		
	義務年限勤務中	10名																																		
	外部研修中	5名																																		
	義務年限満了	3名																																		
	中途離脱	7名																																		
<p>② 医師のキャリアアップ支援</p> <p>医師の定着を図るため、専門医資格の取得等、キャリアアップ支援を行う。</p>	<p>1 専門医、認定医、指導医の取得及び更新等に係る費用(受験料・旅費等)を助成</p> <p>2 医師が所属する学会年会費の助成を継続 (1名あたり年間1学会まで。金額の上限なし)</p> <p style="text-align: right;">(単位：件、千円)</p> <table border="1" data-bbox="752 1058 1491 1260"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取得・更新</td> <td>件数</td> <td>28</td> <td>7</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>410</td> <td>163</td> <td>1,010</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学会年会費</td> <td>件数</td> <td>54</td> <td>14</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>662</td> <td>458</td> <td>1,352</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H27制度利用者減少の対策として赴任時オリエンテーションでの周知強化を徹底)</p> <p>3 義務年限中の修学資金貸与医師に対する外部医療機関での研修の承認 H28年度末現在：5名 外部研修中(専門資格取得等のため)</p>	区分	項目	H26	H27	H28	取得・更新	件数	28	7	39	金額	410	163	1,010	学会年会費	件数	54	14	60	金額	662	458	1,352	○	○										
区分	項目	H26	H27	H28																																
取得・更新	件数	28	7	39																																
	金額	410	163	1,010																																
学会年会費	件数	54	14	60																																
	金額	662	458	1,352																																

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																								
<p>③ 医師の業務軽減</p> <p>医師の労働環境を改善し、定着を図る。</p>	<p>1 入力作業や資料作成等を行う医師事務作業補助者（医療クラーク）を適正配置し、医師の業務負担軽減を図る。 [医療クラーク配置数]</p> <table border="1" data-bbox="752 312 1424 432"> <thead> <tr> <th>病 院</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡病院</td> <td>38 人</td> <td>40 人</td> <td>45 人</td> </tr> <tr> <td>朝来医療センター</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>6 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 豊岡病院 H21 年度医療クラーク制度開始。外来診療枠の増加や医師の要望に伴い年次増員</p> <p>2 医療情報システムの導入・改修による入力負担軽減及び閲覧性の向上。 H28：朝来医療センター導入 [H28 新規]</p>	病 院	H26	H27	H28	豊岡病院	38 人	40 人	45 人	朝来医療センター	—	—	6 人	○	○												
病 院	H26	H27	H28																								
豊岡病院	38 人	40 人	45 人																								
朝来医療センター	—	—	6 人																								
<p>④ 業績に対する評価・報奨</p> <p>病院ごとに経営数値と各種取組の視点で評価し、評価に応じた予算配分を行うことで、業務に対するモチベーション向上を図る。</p>	<p>1 従前より、前年度経営数値を基に業績評価してきたが、H27 年度に経営数値を基とする財務評価と、病院の各種取組に対する特別評価の視点で評価するよう見直しをした。H28 年度より配分額へ適用。</p> <p>(1) 財務評価：前年度決算値（医業収支比率、病床利用率等）に基づき評価 (2) 特別評価：多角的視点から成果があった取り組みに対する評価</p> <p>[配分額] (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="752 847 1406 1091"> <thead> <tr> <th>病 院</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊 岡</td> <td>4,920</td> <td>4,920</td> <td>4,920</td> </tr> <tr> <td>日 高</td> <td>1,490</td> <td>4,040</td> <td>2,070</td> </tr> <tr> <td>出 石</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> <td>4,770</td> </tr> <tr> <td>朝 来</td> <td>2,490</td> <td>4,100</td> <td>3,240</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,000</td> <td>14,160</td> <td>15,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>[H28 年度特別評価の事例] 後発薬品への切り替え（豊） 7 対 1 入院基本料の取得（豊） 地域包括ケア病床導入の検討（出） 組合内病院間応援（日・出・朝）</p>	病 院	H26	H27	H28	豊 岡	4,920	4,920	4,920	日 高	1,490	4,040	2,070	出 石	1,100	1,100	4,770	朝 来	2,490	4,100	3,240	合 計	10,000	14,160	15,000	○	○
病 院	H26	H27	H28																								
豊 岡	4,920	4,920	4,920																								
日 高	1,490	4,040	2,070																								
出 石	1,100	1,100	4,770																								
朝 来	2,490	4,100	3,240																								
合 計	10,000	14,160	15,000																								

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																												
<p>⑤ テレビ会議システム等を活用した教育支援</p> <p>テレビ会議システムを活用し、大学や都市部病院と遠隔カンファレンスや教育講演会を行い、都市部と変わらない医師に対する教育環境を提供する。(H25年11月開始)</p>	<p>1 テレビ会議システムによる合同テレカンファレンス及び教育講演会の継続開催 (尼崎総合医療センター、柏原病院、但馬地域の公立病院)</p> <table border="1" data-bbox="748 272 1554 395"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>尼崎・柏原等合同カンファレンス</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>教育講演会</td> <td>10回</td> <td>7回</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] システム端末設置医療機関 11施設、端末台数 20台</p> <p>2 神戸大学見坂教授(総合診療科)による若手医師への面談・指導等に活用 (1)豊岡病院・八鹿病院合同カンファレンス (2)但馬・丹波兵庫県養成医師合同カンファレンス</p>		H26	H27	H28	尼崎・柏原等合同カンファレンス	12回	12回	11回	教育講演会	10回	7回	7回	○	○																
	H26	H27	H28																												
尼崎・柏原等合同カンファレンス	12回	12回	11回																												
教育講演会	10回	7回	7回																												
<p>⑥ 地域医療研修の受け入れ</p> <p>都市部の病院より地域医療研修医師を受け入れ医師不足の解消を図るとともに、但馬地域及び豊岡病院組合での「勤務体験」を醸成する。</p>	<p>1 都市部の若手医師が但馬地域での勤務を経験することで、将来の勤務先候補として但馬地域及び豊岡病院組合の認知度を高める。 [地域医療研修受入実績]</p> <table border="1" data-bbox="748 746 1364 951"> <thead> <tr> <th>病 院</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 高</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>出 石</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>梁 瀬</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>朝来(和田山)</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>H25：尼崎病院・塚口病院(現尼崎総合医療センター)、大阪市立総合医療センターが参加 H26：西宮病院が参加 H27：神戸中央市民病院が参加 H28：明和病院からの受入を調整、H29より受入決定</p> <p>2 豊岡病院の姉妹病院である尼崎総合医療センターより人的交流の一環として、医師派遣を受ける H28：豊岡病院 総合診療科・形成外科に各1名の常勤医師が赴任</p> <table border="1" data-bbox="748 1286 1364 1366"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入医師数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	病 院	H26	H27	H28	日 高	3人	7人	9人	出 石	3人	2人	2人	梁 瀬	6人	6人	0人	朝来(和田山)	4人	6人	9人		H26	H27	H28	受入医師数	2	1	2	○	○
病 院	H26	H27	H28																												
日 高	3人	7人	9人																												
出 石	3人	2人	2人																												
梁 瀬	6人	6人	0人																												
朝来(和田山)	4人	6人	9人																												
	H26	H27	H28																												
受入医師数	2	1	2																												

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																
⑦ その他（プランに記載のない取り組み）	<p>1 人材紹介業者と契約を締結し、医師が不足している診療科を中心に医師確保を図る (H26年6月～契約中)</p> <table border="1" data-bbox="748 272 1346 352"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>H28：内分泌・糖尿病内科、胸部・心臓血管外科 各1名</p> <p>2 見学希望者の受け入れ</p> <table border="1" data-bbox="748 472 1346 552"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入者数</td> <td>59</td> <td>53</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 原則として見学希望者は全員受け入れ</p> <p>3 地元学生への啓発活動 [H28 新規] 市内NPO法人（こどもと教育と地域）主催の「医師を目指す中高生のための夏季講座」を支援し、豊岡病院にて開催。 地元出身の豊岡病院医師2名と医師修学資金貸与医学生1名が講演を行い、地元の小・中・高校生が計30名参加。</p>		H26	H27	H28	契約数	0	0	2		H26	H27	H28	受入者数	59	53	36	○	○
	H26	H27	H28																
契約数	0	0	2																
	H26	H27	H28																
受入者数	59	53	36																

## II 看護師確保対策

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																
<p>① 奨学金貸与学生の確保</p> <p>看護職志望者へ奨学金を貸与し、将来に向けて安定的な看護師確保を図る。 (H21年 現行制度での募集再開)</p>	<p>1 看護師奨学金貸与者等の推移</p> <table border="1" data-bbox="707 312 1509 434"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規貸与者 ※毎年目標 30 名程度</td> <td>44 人</td> <td>29 人</td> <td>30 人</td> </tr> <tr> <td>勤務開始看護師</td> <td>21 人</td> <td>22 人</td> <td>32 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>制度利用者総数(H21～H28 累計)：253 人、H28 年度末奨学金貸与学生：86 人 高校及び看護師養成学校を訪問し、奨学金制度の周知を依頼している</p>		H26	H27	H28	新規貸与者 ※毎年目標 30 名程度	44 人	29 人	30 人	勤務開始看護師	21 人	22 人	32 人	○	○				
	H26	H27	H28																
新規貸与者 ※毎年目標 30 名程度	44 人	29 人	30 人																
勤務開始看護師	21 人	22 人	32 人																
<p>② 院内保育所活用による離職防止と育休からの職場復帰支援</p> <p>院内保育所 (H26. 11 開設) を活用し、育児短時間勤務制度の利用と合わせ、長期休業からの復帰支援と離職防止に活用する。</p>	<p>1 院内保育所等用者の推移</p> <table border="1" data-bbox="703 641 1460 804"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月極保育(平均)</td> <td>13 人</td> <td>17 人</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>病児保育(延べ)</td> <td>16 人</td> <td>40 人</td> <td>33 人</td> </tr> <tr> <td>育児短時間勤務制度利用者</td> <td>25 人</td> <td>21 人</td> <td>23 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 育児休業者との面談時に院内保育所及び短時間勤務制度を説明し、職員へ周知 (2) 大学医局へも院内保育所設置をアピールし、中堅医師の招聘策として活用</p> <p>[参考] 豊岡病院組合 看護師離職率 (H28) 6.94 % 全国平均 (H27) 10.9 %</p>	種 別	H26	H27	H28	月極保育(平均)	13 人	17 人	17 人	病児保育(延べ)	16 人	40 人	33 人	育児短時間勤務制度利用者	25 人	21 人	23 人	○	○
種 別	H26	H27	H28																
月極保育(平均)	13 人	17 人	17 人																
病児保育(延べ)	16 人	40 人	33 人																
育児短時間勤務制度利用者	25 人	21 人	23 人																
<p>③ テレビ会議システム等を活用した教育支援</p> <p>地理的に不利な条件にある但馬地域において、医師と同様に教育環境の充実を図る。</p>	<p>1 教育講演会等の配信</p> <table border="1" data-bbox="703 1136 1379 1257"> <thead> <tr> <th>全職種を対象とした講演会等</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>16</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>(うち組合外医療機関へも配信)</td> <td>( 6 )</td> <td>( 22 )</td> </tr> </tbody> </table> <p>演題：感染対策、医療安全、災害対策、看護教育、救急医療 等</p>	全職種を対象とした講演会等	H27	H28	開催回数	16	47	(うち組合外医療機関へも配信)	( 6 )	( 22 )	○	○							
全職種を対象とした講演会等	H27	H28																	
開催回数	16	47																	
(うち組合外医療機関へも配信)	( 6 )	( 22 )																	

項 目	H28年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価												
<p>④ 養成校訪問・広報などを活用した確保対策強化</p> <p>若年人口が減少する中で、医療従事者の安定した確保を目的に啓蒙を図る。</p>	<p>1 組合に就職実績のある看護師養成校の訪問、都市部での看護師就職フェアへの出店等を通して、就職先候補として豊岡病院組合の認知度を高める。</p> <table border="1" data-bbox="723 272 1424 395"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師養成校訪問</td> <td>21校</td> <td>26校</td> <td>27校</td> </tr> <tr> <td>看護師就職フェア参加</td> <td>9回</td> <td>5回</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 臨地実習受け入れ校の拡大  H27：2校（日高高校、八鹿看護専門学校）、150人  H28：2校、178人  [参考] H29：4校（姫路大学、大阪病院協会看護専門学校が参加）、194人</p> <p>※ 臨地実習：医療従事者を目指す学生が病院、診療所、福祉施設等で実践的な臨床を学習する授業の一環</p>		H26	H27	H28	看護師養成校訪問	21校	26校	27校	看護師就職フェア参加	9回	5回	7回	○	○
	H26	H27	H28												
看護師養成校訪問	21校	26校	27校												
看護師就職フェア参加	9回	5回	7回												
<p>⑤ 出前講座などを活用した進学対策支援</p> <p>若年人口が減少する中で、医療従事者の安定した確保を目的に啓蒙を図る。</p>	<p>1 地元の高校に現役看護師が出向き、医療の現場について伝えることで、潜在的な医療職志望者を増やし、将来的な職員確保を図る。</p> <table border="1" data-bbox="710 759 1296 882"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>但馬</td> <td>7校</td> <td>6校</td> <td>9校</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>3校</td> <td>3校</td> <td>3校</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地元高校生を対象とした、オープンホスピタルを開催し、看護の現場に触れることで看護師希望者の増加につなげるとともに就職先として豊岡病院組合をPRする。(H22～継続開催)</p> <p style="margin-left: 20px;">〔参加校 11校、参加者 43人  上記以外の一般参加（奨学金貸与学生・看護学生等）41名〕</p> <p>3 ふれあい看護体験の実施  豊岡病院：冬休みふれあい看護体験（12/26-27）  参加校 11校、参加者 46人</p>		H26	H27	H28	但馬	7校	6校	9校	丹後	3校	3校	3校	○	○
	H26	H27	H28												
但馬	7校	6校	9校												
丹後	3校	3校	3校												



項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																				
<p>⑥ 看護師の業務軽減</p> <p>看護師業務へ専念できる環境を作り、看護の質向上と業務負担軽減を図る。</p>	<p>1 診療補助員（看護補助者）を適正に配置し、食事介助等の看護師負担を軽減する。 [年度末診療補助員数（豊岡病院）]</p> <table border="1" data-bbox="712 272 1451 352"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療補助員（正規・臨時）</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 計画的に診療補助員を配置し、急性期看護補助体制加算を取得する 豊岡病院 H28年9月 再取得(75:1) 朝来医療センター H28年10月 取得(25:1)</p>		H26	H27	H28	診療補助員（正規・臨時）	27	23	25	○	○												
	H26	H27	H28																				
診療補助員（正規・臨時）	27	23	25																				
<p>⑦ その他（プランに記載のない取り組み）</p>	<p>1 教育・研修・キャリア支援の充実</p> <p>(1) 看護師長、副看護師長等役職就任時には、ファースト、セカンドレベル等の長期研修受講を義務付け、職責に応じた能力を身に付ける。</p> <table border="1" data-bbox="712 691 1375 810"> <thead> <tr> <th>受講者</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファーストレベル</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>セカンドレベル</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 計画的に認定看護師、専門看護師を育成する。</p> <table border="1" data-bbox="712 903 1375 983"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>15人</td> <td>17人</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>精神専門看護師1名（H22年より配置）</p>	受講者	H26	H27	H28	ファーストレベル	2人	2人	1人	セカンドレベル	0人	1人	0人		H26	H27	H28	認定看護師数	15人	17人	19人	○	○
受講者	H26	H27	H28																				
ファーストレベル	2人	2人	1人																				
セカンドレベル	0人	1人	0人																				
	H26	H27	H28																				
認定看護師数	15人	17人	19人																				

### Ⅲ 医療機能向上対策

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																	
<p>① 病診連携・病病連携の強化促進</p> <p>病院と診療所(病院) が役割、機能を分担し、お互いに連携しながら、効率的・効果的な医療を提供する。</p>	<p>1 豊岡病院において、地域医療支援病院取得を目指し、紹介率・逆紹介率の向上に取り組む</p> <p>[豊岡病院の紹介率・逆紹介率の推移]</p> <table border="1" data-bbox="703 379 1435 582"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>※基準</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">紹介率</td> <td>① 65%</td> <td rowspan="2">39.7 %</td> <td rowspan="2">46.0 %</td> <td rowspan="2">48.9 %</td> </tr> <tr> <td>② 40%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">逆紹介率</td> <td>① 40%</td> <td rowspan="2">50.6 %</td> <td rowspan="2">58.0 %</td> <td rowspan="2">64.9 %</td> </tr> <tr> <td>② 70%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 基準：地域医療支援病院の取得要件 (①または②)</p> <p>(1) 退院調整部門の組織見直し等による、円滑な退院・転院調整の実現 (豊岡病院) [H28 新規]</p> <p>① 医療連携室(他病院からの紹介受付や調整・人間ドックの契約等)と医療福祉相談室(入院患者の退院・転院相談・調整)の連携強化</p> <p>② MSW(医療ソーシャルワーカー)の増員</p> <p>③ 退院調整看護師・相談役看護師の新規配置</p> <p>(2) 診療情報誌の配布 組合に在籍する医師の専門分野や対応可能な症例等を広く開業医に周知し、地元医師会との円滑な病診連携に活用</p> <p>3 朝来医療センターにおいて、開業医との連携強化による地域医療連携機能の推進 [開業医 FAX 予約件数の推移] H27(6月～):53件 → H28:472件 ※H27よりMSW配置済</p> <p>4 医療機器の共同利用、受託検査 高額医療機器、高額検査機器等を開業医と共同で活用し、医療資源の有効活用を図る (日高医療センター)</p> <p>(1) CT 受託検査 H27:361件→H28:340件</p> <p>(2) 骨塩受託検査 H27:5件→H28:6件 (朝来医療センター)</p> <p>(1) CT 受託検査 H27(8月～):5件→H28:65件</p>	項目	※基準	H26	H27	H28	紹介率	① 65%	39.7 %	46.0 %	48.9 %	② 40%	逆紹介率	① 40%	50.6 %	58.0 %	64.9 %	② 70%	○	○
項目	※基準	H26	H27	H28																
紹介率	① 65%	39.7 %	46.0 %	48.9 %																
	② 40%																			
逆紹介率	① 40%	50.6 %	58.0 %	64.9 %																
	② 70%																			

項 目	H28年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																												
<p>② 7対1看護の効率的な運営推進</p> <p>7対1看護基準の取得による手厚い看護体制を実現し、但馬地域で高度急性期病院として求められる機能を確保する。 (H27.6施設基準取得済)</p>	<p>1 採用試験を年8回実施し、7対1看護体制の維持に必要な看護師数を確保・配置 [参考] 豊岡病院看護師数の推移 (正規/年度末) H26 : 440 → H27 : 463 → H28 : 491</p> <p>2 H28診療報酬改定による看護必要度見直しへの対応 7対1病棟算定要件としての全患者数に占める重症患者の割合が、「15%以上→25%以上」に見直し。 退院支援部門の強化、病棟間・組合内病院間の連携推進により重症度を維持し、7対1看護を確保した。</p>	○	○																												
<p>③ DPCの効率的運用</p> <p>DPC病院として求められる機能を充実させるとともに、機能評価係数Ⅱの向上につなげ、収入増を図る (豊岡病院)</p>	<p>1 DPC運用に関して、定期的に委員会 (医師、看護師、医療技術、事務職員) を開催し、効率的な運用について意見交換を行い、随時運用方法を改善していく。 (DPC推進委員会の実施 : H27 : 3回 → H28 : 4回)</p>	○	○																												
<p>④ クリニカルパスの推進</p> <p>クリニカルパスを活用し、医療提供プロセスの標準化を進め、医療の質向上を図る。 (パスは適宜見直し、整理するとともに、新規パスを作成・追加している)</p>	<p>1 新規クリニカルパスの作成及び適用症例数の増加に取り組む。 (パスは適宜見直し、整理するとともに、新規パスを作成・追加している) [登録済クリニカルパス数 (豊岡病院)]</p> <table border="1" data-bbox="703 770 1368 971"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規パス数</td> <td>4件</td> <td>7件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>総パス数</td> <td>125件</td> <td>124件</td> <td>126件</td> </tr> <tr> <td>実施件数(入)</td> <td>3,157件</td> <td>2,900件</td> <td>3,082件</td> </tr> <tr> <td>実施件数(外)</td> <td>4,284件</td> <td>4,086件</td> <td>3,947件</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	H26	H27	H28	新規パス数	4件	7件	17件	総パス数	125件	124件	126件	実施件数(入)	3,157件	2,900件	3,082件	実施件数(外)	4,284件	4,086件	3,947件	○	○								
項 目	H26	H27	H28																												
新規パス数	4件	7件	17件																												
総パス数	125件	124件	126件																												
実施件数(入)	3,157件	2,900件	3,082件																												
実施件数(外)	4,284件	4,086件	3,947件																												
<p>⑤ 連携パスの推進</p> <p>地域での医療連携体制に基づき、地域連携パスの活用を推進する (脳卒中・大腿骨頸部骨折・5大がん)</p>	<p>1 地域連携パスの種類と適用症例数の増加</p> <p>(1) 脳卒中 (豊岡病院) 実施件数</p> <table border="1" data-bbox="703 1067 1308 1150"> <thead> <tr> <th>症例名</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳卒中</td> <td>35件</td> <td>28件</td> <td>60件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 5大がん(胃・肺・肝・大腸・乳)実施件数</p> <table border="1" data-bbox="703 1217 1308 1422"> <thead> <tr> <th>症例名</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	症例名	H26	H27	H28	脳卒中	35件	28件	60件	症例名	H26	H27	H28	豊岡	2件	2件	17件	日高	1件	1件	0件	出石	4件	2件	4件	朝来	0件	0件	0件	○	○
症例名	H26	H27	H28																												
脳卒中	35件	28件	60件																												
症例名	H26	H27	H28																												
豊岡	2件	2件	17件																												
日高	1件	1件	0件																												
出石	4件	2件	4件																												
朝来	0件	0件	0件																												

項 目	H28年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																															
<p>⑥ 高度かつ先進的な周産期医療の提供</p> <p>但馬地域の周産期医療の基幹病院として妊娠初期から分娩、乳幼児の成育まで一貫した高度専門医療を提供する（豊岡病院）</p>	<p>1 但馬地域に安心・安全なお産を提供する [分娩件数の推移]</p> <table border="1" data-bbox="712 272 1346 475"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>880</td> <td>879</td> <td>872</td> </tr> <tr> <td>うち正常分娩</td> <td>789</td> <td>764</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>うち異常分娩</td> <td>91</td> <td>115</td> <td>219</td> </tr> <tr> <td>(うち帝王切開)</td> <td>(41)</td> <td>(41)</td> <td>(111)</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考]H27年1月 こうのとり周産期医療センター開設 H29年9月 助産師外来開設</p>	項 目	H26	H27	H28	分娩件数	880	879	872	うち正常分娩	789	764	653	うち異常分娩	91	115	219	(うち帝王切開)	(41)	(41)	(111)	○	○											
項 目	H26	H27	H28																															
分娩件数	880	879	872																															
うち正常分娩	789	764	653																															
うち異常分娩	91	115	219																															
(うち帝王切開)	(41)	(41)	(111)																															
<p>⑦ 朝来医療センター建設の医療機能向上と効率的運用の推進</p> <p>「基本構想・基本計画」に基づいた、新病院での医療機能提供と効率的運用を推進する。</p>	<p>1 朝来医療センター開院に伴う効率的運用の推進（地方公営企業決算状況調査より H27 対 H28 比較）</p> <table border="1" data-bbox="712 655 1458 858"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H27(梁+和)</th> <th>H28(朝来)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数（正規職員、年度末）</td> <td>147</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>医師1名1日当患者数(入院)</td> <td>9.3人</td> <td>11.1人</td> </tr> <tr> <td>医師1名1日当患者数(外来)</td> <td>15.4人</td> <td>17.3人</td> </tr> <tr> <td>職員1人当診療収入</td> <td>397千円</td> <td>428千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 朝来医療センター救急受入の拡大 (梁瀬・和田山医療センター) 梁瀬：受け入れ不可、 和田山：20時まで受け入れ可(内科)※ 常勤医師医当直時に限る。 (朝来医療センター) 21時まで365日受入可(内科・外科) ※ 整形外科は24時間365日受入可(和田山MCより変更なし)</p> <p>[朝来医療センターの時間外患者数の推移]</p> <table border="1" data-bbox="712 1190 1256 1353"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入 院</td> <td>215</td> <td>183</td> <td>203</td> </tr> <tr> <td>外 来</td> <td>1,122</td> <td>1,105</td> <td>1,357</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,337</td> <td>1,288</td> <td>1,560</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	H27(梁+和)	H28(朝来)	職員数（正規職員、年度末）	147	119	医師1名1日当患者数(入院)	9.3人	11.1人	医師1名1日当患者数(外来)	15.4人	17.3人	職員1人当診療収入	397千円	428千円	区 分	H26	H27	H28	入 院	215	183	203	外 来	1,122	1,105	1,357	合 計	1,337	1,288	1,560	△	△
項 目	H27(梁+和)	H28(朝来)																																
職員数（正規職員、年度末）	147	119																																
医師1名1日当患者数(入院)	9.3人	11.1人																																
医師1名1日当患者数(外来)	15.4人	17.3人																																
職員1人当診療収入	397千円	428千円																																
区 分	H26	H27	H28																															
入 院	215	183	203																															
外 来	1,122	1,105	1,357																															
合 計	1,337	1,288	1,560																															

項 目	H28年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																					
<p>⑧ 地域医療構想を踏まえた医療提供体制の整備</p> <p>高度急性期から在宅医療まで切れ間ない医療提供を充実させる。</p>	<p>1 出石医療センターに地域包括ケア病床(10床)を導入し、但馬地域に不足している回復期機能の充実を図る。 (H29.4より8床増床し18床運用) [H28新規]</p> <p>(1)地域包括ケア病床導入による平均在院日数の増加</p> <table border="1" data-bbox="721 323 1176 445"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>19.8</td> <td>19.9</td> </tr> <tr> <td>地域包括</td> <td>—</td> <td>26.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] 施設基準取得要件に定められる平均在院日数 7対1看護：19日以内、10対1看護：21日以内 地域包括ケア：60日以内</p> <p>(2)在宅復帰支援の充実 [訪問リハビリの強化]</p> <table border="1" data-bbox="721 660 1326 782"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位数</td> <td>626</td> <td>640</td> <td>1,165</td> </tr> <tr> <td>収 益</td> <td>1,991千円</td> <td>2,060千円</td> <td>3,705千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 地域包括ケア病床 急性期医療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟または病室</p>		H27	H28	一般	19.8	19.9	地域包括	—	26.7		H26	H27	H28	単位数	626	640	1,165	収 益	1,991千円	2,060千円	3,705千円	○	○
	H27	H28																						
一般	19.8	19.9																						
地域包括	—	26.7																						
	H26	H27	H28																					
単位数	626	640	1,165																					
収 益	1,991千円	2,060千円	3,705千円																					
<p>⑨その他（プランに記載のない取り組み）</p>	<p>1 リハビリテーションの充実</p> <p>(1)豊岡病院入院患者の365日リハの実施（豊岡病院） H26：祝日リハの開始 H27：土曜リハの開始 H28：日曜リハの開始（365日リハ開始）</p> <p>(2)日高医療センター訪問リハビリの充実</p> <table border="1" data-bbox="721 1232 1326 1353"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位数</td> <td>3,654</td> <td>4,104</td> <td>4,784</td> </tr> <tr> <td>収 益</td> <td>11,491千円</td> <td>12,940千円</td> <td>16,377千円</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	単位数	3,654	4,104	4,784	収 益	11,491千円	12,940千円	16,377千円	○	○									
	H26	H27	H28																					
単位数	3,654	4,104	4,784																					
収 益	11,491千円	12,940千円	16,377千円																					

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価
	<p>2 緩和ケア病床の開設 [H28 新規]</p> <p>開設当初は緩和ケア病棟の機能が住民に十分理解されていなかったため患者数が落ち込んだが、下期より地域医療機関及び住民への周知に努め、患者数は増加傾向にある。</p> <p>(1) H28.4 から 20 床で開設</p> <p>(2) H28 上期延患者数 772 人 → H28 下期延患者数 1,623 人</p> <p>※緩和ケアとは  がんによる身体的・精神的な苦痛の除去をはじめ、患者と家族にとって可能な限りの QOL（人生の質、生活の質）を実現するためのケア。がんの終末期に行われる、治療や延命ではなく疼痛等の苦痛の除去を目的とした「ターミナルケア」は緩和ケアの概念の一部。（緩和ケア普及啓発事業 緩和ケア.net より）</p>	○	○

#### IV 経営意識向上対策

項目	H28年度実績・成果	自己評価	委員会評価																
<p>① 経営意識向上を目的としたセミナー等の開催</p>	<p>1 病院経営に関する専門知識を有した事務職員の育成</p> <p>(1) マネジメントセミナー(財政・医事担当職員が全ての事務職員対象に経営に関するテーマで講演を実施)による経営意識の向上  H27 : 3回 (参加者 158名) → H28 : 1回(46人)  特別編 → 1回(49人)</p> <p>(2) 全自病学会に参加した事務職員の事後発表会を実施</p> <p>(3) 経営幹部層や中堅職員(医療職含む)に、病院経営学会関連の学会・研修会へ参加させた</p> <table border="1" data-bbox="741 584 1292 746"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会</td> <td>9人</td> <td>12人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>セミナー</td> <td>5人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>研修会</td> <td>11人</td> <td>14人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	学会	9人	12人	18人	セミナー	5人	1人	3人	研修会	11人	14人	20人	○	○
	H26	H27	H28																
学会	9人	12人	18人																
セミナー	5人	1人	3人																
研修会	11人	14人	20人																
<p>② 経営状況の「見える化」と職員間の更なる情報共有</p>	<p>1 管理会議、職種別会議等で、予算・決算等についての出前講座を実施 [H28 新規]  [実施済]  管理会議(全病院)、総看護師長会議、薬局長会議、放射線科長会議、検査科長会議、リハビリテーション科長会議、栄養士会議、調理師会議</p>	○	○																
<p>③ BSC を活用した経営意識の向上</p> <p>BSC (バランストスコアカード) を活用して経営戦略の共有化と実行管理を行う。</p>	<p>1 部門ごとに部署別行動計画を作成し、目標達成のための業務管理に活用</p> <p>(1) 期中面談：管理者と行動計画作成担当者との面談を実施し、課題を共有</p> <p>(2) 点検評価：年度末に各部署で実施。翌年度の行動計画作成時に成果を反映。</p>	○	○																
<p>④ その他(プランに記載のない取り組み)</p>	<p>1 管理者表彰・病院長表彰</p> <p>医療の質の向上や業務改善による病院運営に貢献した職員(個人・団体)を表彰し、業務へのモチベーション向上を図った。</p> <p>[表彰件数]  H26 : 10件 → H27 : 13件 → H28:11件</p>	○	○																

## V 収入向上対策

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																																		
<p>① 7 対 1 入院基本料の取得（豊岡病院）</p> <p>H27.6 取得済み</p>	<p>[効果額（豊岡病院）]</p> <table border="1" data-bbox="689 312 1451 434"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院収益（税込、百万円）</td> <td>8,228</td> <td>8,759</td> <td>9,205</td> </tr> <tr> <td>診療単価（税込、円）</td> <td>49,249</td> <td>53,691</td> <td>56,917</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	入院収益（税込、百万円）	8,228	8,759	9,205	診療単価（税込、円）	49,249	53,691	56,917	○	○																						
	H26	H27	H28																																		
入院収益（税込、百万円）	8,228	8,759	9,205																																		
診療単価（税込、円）	49,249	53,691	56,917																																		
<p>② 新たな施設基準の取得</p> <p>診療報酬上有利となる施設基準を取得し、収益の向上を図る</p>	<p>1 H28 取得施設基準 ※ 効果額は単価の増に患者数を乗じたもの。給与費・材料費等の諸費用は考慮せず</p> <table border="1" data-bbox="683 483 1883 1129"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>施設基準名称</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">豊岡</td> <td>精神科リエゾン加算</td> <td rowspan="3">69,570 千円/年</td> </tr> <tr> <td>看護補助加算 4</td> </tr> <tr> <td>特定集中治療加算 2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">日高</td> <td>脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)</td> <td rowspan="2">7,927 千円/年</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリテーション料(Ⅰ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">出石</td> <td>地域包括入院医学管理料 1</td> <td rowspan="4">下記「2 地域包括ケア病床の導入」 のとおり</td> </tr> <tr> <td>診療録管理体制加算 2</td> </tr> <tr> <td>データ提出加算 1</td> </tr> <tr> <td>糖尿病合併症管理料</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">朝来</td> <td>持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定</td> <td rowspan="4">24,972 千円/年</td> </tr> <tr> <td>急性期看護補助体制加算</td> </tr> <tr> <td>病棟薬剤業務実施加算</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助体制加算</td> </tr> <tr> <td></td> <td>療養環境加算</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>療養病棟療養環境加算 1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地域包括ケア病床の導入の効果（出石医療センター）</p> <p>①地域包括ケア病床開設に伴い、施設基準取得要件である新たな施設基準の取得等に伴う効果額等（626 千円）</p> <p>②地域包括 10 床導入に伴う効果額（11,921 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者増に伴う効果額 9,205 千円（地域包括入院患者の在院日数の増に伴う延患者数の増加を見込む）</li> <li>入院単価向上に伴う効果額 2,716 千円             <table border="1" data-bbox="757 1362 1218 1437"> <tr> <td>一般単価（包括導入前）</td> <td>26,301 円</td> </tr> <tr> <td>包括単価</td> <td>29,409 円</td> </tr> </table> </li> </ul>	病院名	施設基準名称	効果額	豊岡	精神科リエゾン加算	69,570 千円/年	看護補助加算 4	特定集中治療加算 2	日高	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	7,927 千円/年	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	出石	地域包括入院医学管理料 1	下記「2 地域包括ケア病床の導入」 のとおり	診療録管理体制加算 2	データ提出加算 1	糖尿病合併症管理料	朝来	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	24,972 千円/年	急性期看護補助体制加算	病棟薬剤業務実施加算	医師事務作業補助体制加算		療養環境加算			療養病棟療養環境加算 1		一般単価（包括導入前）	26,301 円	包括単価	29,409 円	○	○
病院名	施設基準名称	効果額																																			
豊岡	精神科リエゾン加算	69,570 千円/年																																			
	看護補助加算 4																																				
	特定集中治療加算 2																																				
日高	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	7,927 千円/年																																			
	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)																																				
出石	地域包括入院医学管理料 1	下記「2 地域包括ケア病床の導入」 のとおり																																			
	診療録管理体制加算 2																																				
	データ提出加算 1																																				
	糖尿病合併症管理料																																				
朝来	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	24,972 千円/年																																			
	急性期看護補助体制加算																																				
	病棟薬剤業務実施加算																																				
	医師事務作業補助体制加算																																				
	療養環境加算																																				
	療養病棟療養環境加算 1																																				
一般単価（包括導入前）	26,301 円																																				
包括単価	29,409 円																																				



項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																																																																	
<p>③ DPC 機能評価係数Ⅱの向上</p> <p>DPC 機能評価係数Ⅱの向上につながる施策を実施し、収入増を図る。</p>	<p>1 DPC 機能評価係数Ⅱの向上につながる効率性指数（平均在院日数の短縮）と後発薬品係数（後発医薬品の採用）の増加を図る。（豊岡病院）</p> <p>[DPC 機能評価係数の向上]</p> <table border="1" data-bbox="685 312 1431 756"> <thead> <tr> <th>係 数</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データ提出指数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保険診療</td> <td>0.00731</td> <td>0.00730</td> <td>0.00806</td> </tr> <tr> <td>効率性指数</td> <td>0.00785</td> <td>0.00645</td> <td>0.00712</td> </tr> <tr> <td>複雑性指数</td> <td>0.00863</td> <td>0.01019</td> <td>0.01102</td> </tr> <tr> <td>カバー率指数</td> <td>0.00764</td> <td>0.00785</td> <td>0.01026</td> </tr> <tr> <td>救急医療</td> <td>0.01054</td> <td>0.01291</td> <td>0.01476</td> </tr> <tr> <td>地域医療指数</td> <td>0.01626</td> <td>0.01609</td> <td>0.01878</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品</td> <td>0.00360</td> <td>0.00316</td> <td>0.00958</td> </tr> <tr> <td>重症度係数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.00421</td> </tr> <tr> <td>機能評価係数Ⅱ(計)</td> <td>0.06183</td> <td>0.06395</td> <td>0.08379</td> </tr> </tbody> </table> <p>係数向上による効果額：H27 → H28(+0.01984)：約58,300千円/年</p> <p>(1) 平均在院日数の短縮（※精神科を除く） H27：14.3日 → H28：13.9日</p> <p>(2) 後発医薬品採用割合の増加 (単位：件、%)</p> <table border="1" data-bbox="663 1002 1720 1123"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26.9</th> <th>H27.3</th> <th>H27.9</th> <th>H28.3</th> <th>H28.9</th> <th>H29.3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>78,641</td> <td>95,478</td> <td>104,095</td> <td>104,748</td> <td>88,364</td> <td>106,543</td> </tr> <tr> <td>割 合</td> <td>59.40</td> <td>68.08</td> <td>74.06</td> <td>73.13</td> <td>77.59</td> <td>78.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] 国の後発医薬品割合目標 H29 70% → H30-32 80%</p>	係 数	H26	H27	H28	データ提出指数	—	—	—	保険診療	0.00731	0.00730	0.00806	効率性指数	0.00785	0.00645	0.00712	複雑性指数	0.00863	0.01019	0.01102	カバー率指数	0.00764	0.00785	0.01026	救急医療	0.01054	0.01291	0.01476	地域医療指数	0.01626	0.01609	0.01878	後発医薬品	0.00360	0.00316	0.00958	重症度係数	—	—	0.00421	機能評価係数Ⅱ(計)	0.06183	0.06395	0.08379		H26.9	H27.3	H27.9	H28.3	H28.9	H29.3	品目数	78,641	95,478	104,095	104,748	88,364	106,543	割 合	59.40	68.08	74.06	73.13	77.59	78.78	○	○
係 数	H26	H27	H28																																																																	
データ提出指数	—	—	—																																																																	
保険診療	0.00731	0.00730	0.00806																																																																	
効率性指数	0.00785	0.00645	0.00712																																																																	
複雑性指数	0.00863	0.01019	0.01102																																																																	
カバー率指数	0.00764	0.00785	0.01026																																																																	
救急医療	0.01054	0.01291	0.01476																																																																	
地域医療指数	0.01626	0.01609	0.01878																																																																	
後発医薬品	0.00360	0.00316	0.00958																																																																	
重症度係数	—	—	0.00421																																																																	
機能評価係数Ⅱ(計)	0.06183	0.06395	0.08379																																																																	
	H26.9	H27.3	H27.9	H28.3	H28.9	H29.3																																																														
品目数	78,641	95,478	104,095	104,748	88,364	106,543																																																														
割 合	59.40	68.08	74.06	73.13	77.59	78.78																																																														

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																								
<p>④ 未収金の発生率の抑制及び未収金の回収率の向上</p> <p>未収金の発生抑制と回収強化により、収益を確保する。</p>	<p>1 未収金防止・回収マニュアルに基づき、未収金発生時からすみやかに回収に着手し、焦げ付き未収金の発生を防止。(H17 より未収金回収専従職員を豊岡病院に配置)</p> <p>2 債権発生から2カ月以上経過かつ自主回収が困難と判断される債権は、弁護士事務所への委託による回収を行い、不納欠損処理額の減額に努める。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="683 440 1429 683"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未収金発生率</td> <td>1.4 %</td> <td>1.3 %</td> <td>1.2 %</td> </tr> <tr> <td>未収貸倒引当金発生額</td> <td>1,838</td> <td>682</td> <td>835</td> </tr> <tr> <td>回収額</td> <td>891</td> <td>899</td> <td>1,037</td> </tr> <tr> <td>(委託額)</td> <td>(4,100)</td> <td>(6,232)</td> <td>(1,944)</td> </tr> <tr> <td>不納欠損処理額</td> <td>1,838</td> <td>3,951</td> <td>575</td> </tr> </tbody> </table> <p>[用語]  未収金発生率＝期末患者未収金÷医業収益  未収貸倒引当金：未収収益の回収不能による損失に備えるために引き当てたもの  不納欠損処理：時効起算日から3年経過後、4年目に貸倒引当金を取り崩し、会計上の損金をするもの。  死亡等により回収できなくなったもの</p>		H26	H27	H28	未収金発生率	1.4 %	1.3 %	1.2 %	未収貸倒引当金発生額	1,838	682	835	回収額	891	899	1,037	(委託額)	(4,100)	(6,232)	(1,944)	不納欠損処理額	1,838	3,951	575	○	○
	H26	H27	H28																								
未収金発生率	1.4 %	1.3 %	1.2 %																								
未収貸倒引当金発生額	1,838	682	835																								
回収額	891	899	1,037																								
(委託額)	(4,100)	(6,232)	(1,944)																								
不納欠損処理額	1,838	3,951	575																								
<p>⑤ 遊休不動産の売却</p> <p>不要な資産を売却し、資金を確保する。</p>	<p>1 組合の遊休不動産及び廃棄予定の高度医療機器等を売却し、資金を確保する。</p> <p>(1) 院内掲示及び広報誌(ほすびたる)への掲載等、売却先を公募し、出石医療センター町分住宅を売却。(旧和田山医療センター秋葉台住宅は医師住宅として継続利用)</p> <table border="1" data-bbox="698 1094 1323 1216"> <thead> <tr> <th>[遊休不動産]</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売却件数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>売却金額</td> <td>4,550 万円</td> <td>0</td> <td>780 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 旧梁瀬・和田山医療センターの医療機器を540万円で売却</p> <p>2 朝来市域の医療福祉の充実を図るため、用途を医療、福祉等に限定し、旧梁瀬医療センター売却の公募を行ったが、応募なし(公募期間H28.8～H28.12)。 ※ H29.8より再公募。</p>	[遊休不動産]	H26	H27	H28	売却件数	1	0	1	売却金額	4,550 万円	0	780 万円	△	△												
[遊休不動産]	H26	H27	H28																								
売却件数	1	0	1																								
売却金額	4,550 万円	0	780 万円																								

項 目	H28年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																																								
⑥ 目的外使用許可制度の活用による収益確保	<p>1 行政財産使用料の適正な算定と徴収に努める (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="689 272 1294 515"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>17,278</td> <td>18,548</td> <td>18,479</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>3,271</td> <td>3,361</td> <td>3,262</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>1,545</td> <td>2,442</td> <td>2,192</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>4,276</td> <td>4,396</td> <td>4,345</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26,370</td> <td>28,747</td> <td>28,278</td> </tr> </tbody> </table> <p>( H26～27年度に自動販売機設置手数料の見直しを行い、売り上げに応じた手数料へ算定方法を変更したことから、収入が増加した。 )</p> <p>2 有料広告の募集 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="683 694 1348 855"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌</td> <td>208</td> <td>227</td> <td>211</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>208</td> <td>227</td> <td>211</td> </tr> </tbody> </table> <p>広報誌3月号に募集広告掲載、ホームページ上にも募集広告を継続して掲載</p>		H26	H27	H28	豊岡	17,278	18,548	18,479	日高	3,271	3,361	3,262	出石	1,545	2,442	2,192	朝来	4,276	4,396	4,345	合計	26,370	28,747	28,278		H26	H27	H28	広報誌	208	227	211	ホームページ	0	0	0	合計	208	227	211	○	○
	H26	H27	H28																																								
豊岡	17,278	18,548	18,479																																								
日高	3,271	3,361	3,262																																								
出石	1,545	2,442	2,192																																								
朝来	4,276	4,396	4,345																																								
合計	26,370	28,747	28,278																																								
	H26	H27	H28																																								
広報誌	208	227	211																																								
ホームページ	0	0	0																																								
合計	208	227	211																																								

## VI 経費削減対策

項 目	H28 年度 実績・成果				自己 評価	委員会 評価																																																	
<p>① 委託内容の見直しと業務委託の推進</p> <p>業務内容を見直し、適切な委託化を行うことで経費を削減するとともに、業務効率を向上させる。</p>	<p>1 4病院統一契約による委託料の削減</p> <p>(1) 既契約による効果額 (単位：百万円)</p> <table border="1" data-bbox="707 349 1476 633"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師制服の統一</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>寝具契約内容の見直し</td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>検査委託入札実施等</td> <td>12</td> <td>22</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>在宅酸素機器見直し</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>病室 TV 契約の統一</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>28.6</td> <td>38.6</td> <td>38.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 新契約による効果額 H28年5月より複写機の統一契約を実施 (効果額 △925千円/年) [H28 新規]</p> <p>1 薬品の4病院一括契約・値引き交渉の継続</p> <p style="text-align: right;">下図左：値引率、右：効果額(千円)</p> <table border="1" data-bbox="719 866 1550 987"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 期</td> <td>14.53%</td> <td>32,917</td> <td>15.4%</td> <td>4,894</td> <td>14.47%</td> <td>27,301</td> </tr> <tr> <td>下 期</td> <td>15.02%</td> <td>8,795</td> <td>15.6%</td> <td>7,916</td> <td>14.82%</td> <td>5,540</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 薬品の採用・情報管理担当の薬剤師を加え、薬品情報の視点も交え単価交渉を実施。 (2) 卸との交渉以外に、製薬会社とのヒアリングも行い、多角的に価格交渉を実施。</p> <p>3 一括入札の効果 一括入札実績：15件 高額医療機器一式を 予算合計 224,086千円→160,866千円で購入 (削減効果△63,220千円) ※ 一括入札不調後、指名競争入札を実施した</p>				項 目	H26	H27	H28	看護師制服の統一	7	7	7	寝具契約内容の見直し	4.6	4.6	4.6	検査委託入札実施等	12	22	22	在宅酸素機器見直し	1	1	1	病室 TV 契約の統一	4	4	4	合 計	28.6	38.6	38.6		H26		H27		H28		上 期	14.53%	32,917	15.4%	4,894	14.47%	27,301	下 期	15.02%	8,795	15.6%	7,916	14.82%	5,540	○	○
項 目	H26	H27	H28																																																				
看護師制服の統一	7	7	7																																																				
寝具契約内容の見直し	4.6	4.6	4.6																																																				
検査委託入札実施等	12	22	22																																																				
在宅酸素機器見直し	1	1	1																																																				
病室 TV 契約の統一	4	4	4																																																				
合 計	28.6	38.6	38.6																																																				
	H26		H27		H28																																																		
上 期	14.53%	32,917	15.4%	4,894	14.47%	27,301																																																	
下 期	15.02%	8,795	15.6%	7,916	14.82%	5,540																																																	

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価																					
② 同種同効品への切り替え等による経費削減	<p>1 商品切替・値引等削による材料費削減効果額（診療材料費） （税別、単位：千円）</p> <table border="1" data-bbox="721 272 1137 515"> <thead> <tr> <th>病 院</th> <th>H28 効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊 岡</td> <td>22,927</td> </tr> <tr> <td>日 高</td> <td>828</td> </tr> <tr> <td>出 石</td> <td>374</td> </tr> <tr> <td>朝 来</td> <td>91</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>24,220</td> </tr> </tbody> </table>	病 院	H28 効果額	豊 岡	22,927	日 高	828	出 石	374	朝 来	91	合 計	24,220	○	○									
病 院	H28 効果額																							
豊 岡	22,927																							
日 高	828																							
出 石	374																							
朝 来	91																							
合 計	24,220																							
③ 委託化等の推進による適正な人員配置	<p>1 H28 年度は委託化ではなく、梁瀬・和田山医療センターの統合による人的配置の効率化を実施 （P10 「朝来医療センター建設の医療機能向上と効率的運用の推進」参照）</p>	—	—																					
④ 後発薬品の使用率の向上促進	<p>1 DPC 適用病院（豊岡病院）において、後発薬品への切り替えを推進 [後発医薬品採用品目数・割合] 【P15 再掲】 (単位：件、%)</p> <table border="1" data-bbox="685 826 1742 946"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26.9</th> <th>H27.3</th> <th>H27.9</th> <th>H28.3</th> <th>H28.9</th> <th>H29.3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>78,641</td> <td>95,478</td> <td>104,095</td> <td>104,748</td> <td>88,364</td> <td>106,543</td> </tr> <tr> <td>割 合</td> <td>59.40</td> <td>68.08</td> <td>74.06</td> <td>73.13</td> <td>77.59</td> <td>78.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] 国の後発医薬品割合目標 H29 70 % → H30-32 80 %</p>		H26.9	H27.3	H27.9	H28.3	H28.9	H29.3	品目数	78,641	95,478	104,095	104,748	88,364	106,543	割 合	59.40	68.08	74.06	73.13	77.59	78.78	○	○
	H26.9	H27.3	H27.9	H28.3	H28.9	H29.3																		
品目数	78,641	95,478	104,095	104,748	88,364	106,543																		
割 合	59.40	68.08	74.06	73.13	77.59	78.78																		
⑤ その他（プランに記載のない取り組み）	<p>1 空調用冷温水ポンプシステムの整備による電気使用量抑制（豊岡病院） [H28 新規] 29 年 1 月～稼働 費用削減効果 600 千円/月 ※ 季節による変動あり</p>	○	○																					

## VII 広報及び連携対策

項 目	H28 年度 実績・成果	自己 評価	委員会 評価
<p>① ホームページの充実</p> <p>病院組合の情報提供の一環として、ホームページの充実を図る。</p>	<p>1 診療担当表の変更、休診のお知らせ、職員採用情報など、適宜ページを更新し情報発信を実施</p> <p>2 ホームページのスマートフォン対応を実施 また、豊岡病院部分の全面リニューアルを検討（H30 年リニューアル予定）</p>	○	○
<p>② 「ほすびたる」による積極的な情報提供</p>	<p>1 広報誌「ほすびたる」を隔月(奇数月)発行し、豊岡市・朝来市へ配布。診療情報や職員採用、組合内のトピックスについて、住民への情報発信を行い、地域から信頼され親しみを持たれる病院作りにつとめた。</p> <p>[主なトピックス] 朝来医療センター開院特集、日高医療センターあり方検討に関する臨時号、豊岡病院女性泌尿器科外来の開設等</p>	○	○
<p>③ FM ジングルによる情報提供</p>	<p>1 FM ジングルを活用し、病院祭の事前告知を実施</p>	○	○
<p>④ 各構成市広報誌による情報提供</p>	<p>1 職員採用の告知に活用 2 看護師等奨学金募集の告知に活用</p>	○	○
<p>⑤ 区長会他関係団体への情報提供 (出前講座)</p>	<p>1 日高医医療センターあり方基本計画策定に伴う、意見交換、情報提供等に活用した。</p>	○	○
<p>⑥ 朝来市ケーブルテレビにおける情報提供</p>	<p>1 朝来医療センターの開院時、新病院の設備・機能について地域住民に情報提供した</p>	○	○
<p>⑦ 4 病院ネットワーク化</p>	<p>1 院長会議、事務長会議、職種別所属長会議等で病院間の情報共有を行い、組合内の連携を強化。</p> <p>[参考] H29 より、院長会議と事務長会議を同時開催とし、情報共有と意見交換機能を強化した。</p>	○	○